



厚生労働省 医政局長賞

自治体部門 優秀賞

「今日から実践！上手な医療のかかり方」～普及活動の展開～



取組の経緯について

平均寿命が全国最下位、深刻な医師不足などの課題を抱える本県では、県民一人ひとりが、健康的な生活習慣づくりに取り組み、医療を取り巻く環境の変化や制度に関する理解を深め、医療の適切な選択や受診を行えるよう、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」（2019～2023年）において、「上手な医療のかかり方の推進」を重点的に取り組むべき政策として位置づけ、令和元年度から、集中的に取り組んでいます。

事業の概要と特徴

本県特有の課題である「受診の遅れによる病状悪化」や、「大病院での長い待ち時間」「救急医療現場の疲弊」等の改善を念頭に、上手な医療のかかり方のポイントをまとめたリーフレット「保存版 上手な医療のかかり方BOOK」を制作し、「みんなで医療を考える月間」である11月に、県内全世帯等へ約56万部を配布しました。また、配布に合わせて、市町村広報誌や、県ホームページでの周知、動画の掲載、テレビ番組でPRを行うなど、集中的に啓発に取り組みました。

県民からの希望に応じ、県職員が「上手な医療のかかり方」の出前講座を実施しているほか、市町村や医療機関等主催の健康イベント等とタイアップして、今後も啓発活動を展開していきます。

医療のかかり方を変えていくポイント

リーフレットでは、上手に医療にかかることが自身のメリットになることを、フローチャートとイラストを組み合わせわかりやすく解説。クリニックと大病院の役割とその意義、コンビニ受診への警鐘、かかりつけ医をもつことの重要性、コロナ禍での適切な受診の必要性を盛り込みました。

今後も地域において継続的な取組となるよう、イベントで配布するポケット版リーフレットの作成や、医療機関の待合室などで放映が可能な動画の配布など、県民、医療機関、行政などが一体となって啓発できるような仕掛けを作りました。

【リーフレット】



【出前講座】



【フローチャートでわかりやすく解説】